

手足症候群

●原因となりやすい薬

点滴薬：フルオロウラシル、ドセタキセル

内服薬：カペシタビン、フルオロウラシル、エスワン、
ユーエフティー®、ネクサバル®、スーテント®、
スチバーガ®

●特徴と経過

抗がん剤投与4日～6カ月月までに症状が出現。減量・休薬や治療終了により、1～2カ月で軽快・消失する事が多いです。

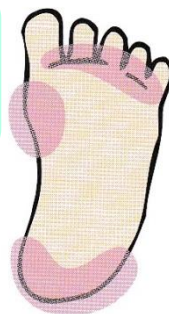


●症状・好発部位

関節、しわ、
爪の周りに
出やすい！



指の付け根、
かかとに
出やすい！



見た目
に変化が
あります！

症状は赤み、はれ、皮むけ、水疱、びらん、潰瘍、色素沈着です。
手や足の皮膚、爪にできる事が多いです。

●医療者に報告して欲しいこと

痛み、かゆみ、腫れがひどい場合は無理をしすぎないように！
ひどい時は**皮膚科への受診**しましょう！

●ご自身で注意していただきたいこと

1、清潔	<ul style="list-style-type: none">・洗顔、入浴、シャワーで皮膚を清潔にしましょう。・顔や体を洗う時は、洗浄剤を泡立て、刺激が少ないようにしましょう。
2、軟膏・保湿剤使用	<ul style="list-style-type: none">・毎日保湿剤を可能なら1日5回以上使用して下さい。・軟膏等の使用は、医師の指示を守ってください。・入浴後5分以内が好ましく、ティッシュが付く程度に塗ってください。
3、刺激は避ける	<ul style="list-style-type: none">・外出時は帽子や日傘、日焼け止めを使用しましょう。・きつく固い靴や体重が1点にかかりやすいパンプスは避け、クッション性の高いサンダルやスニーカーをはきましょう。・やわらかい中敷きを使用しましょう。・入浴は、手がふやけない程度のぬるめのお湯で！・できれば水仕事は手袋を使用してください。・重たい荷物は極力持たないようにしましょう。・包丁を強く握らないように！カット野菜やハサミやピーラーを使用してみてください。
4、爪の手入れ	<ul style="list-style-type: none">・爪切りはなるべくやすりがおすすめです。・マニキュアも有効です。・ハンドクリームは爪や爪の根元にも塗ってください。

